

第2節 大学生の生活実態

1 週間を通しての通学日数、大学で過ごす時間

大学生の1週間を通しての通学日数の平均は4.4日で、また1週間を通して大学で過ごす時間の平均は25.1時間、通学日数の平均で割ると1日あたり5.7時間過ごしているという結果になった。また学年が進むにつれて通学日数・大学で過ごす時間ともに減少する傾向がみられた。



- あなたは1週間のうち、だいたい何日大学に通っていますか。
- 1週間を通して大学で過ごす時間の合計をお答えください。

現在の大学生は、ふだん大学にどのくらい通い、どのくらいの時間を大学で過ごしているのだろうか。表2-2-1に1週間を通しての通学日数の平均と分布状況を示したが、まず全体平均で4.4日大学に通学しているという結果となった。さらに学年別の平均をみると1年生5.0日>2年生4.9日>3年生4.5日>4年生3.5日と、学年が進むにつれて通学日数は減少し、1年生と4年生では平均で1.5日の差が生じている。通学日数の分布状況をみてみると、「5日」は1年生で69.1%、2年生で61.5%と6割以上回答しているが、4年生では28.3%にとどまる。4年生では「1日」とする回答が15.8%と全体に比べ11.5ポイント高い。

次に1週間を通して大学で過ごす時間について、表2-2-2でその平均と分布状況を全体と学年別に示した。まず全体の平均時間は25.1時間であり、先の通学日数の平均で割ると1日あたり5.7時間を大学で過ごしている計算になる。さらに大学で過ごす時間の平均を学年別にみると、通学日数と同様に学年が進むにつれて減少する傾向にあり、4年生では19.1時間と、全体に比べ6.0時間少ない。また分布状況をみると4年

生では「5時間以下」が24.6%、「10時間以下」が21.3%であり、これらを合わせると4年生のうちほぼ半数近くが1週間を通して大学で過ごす時間が10時間以下であることが確認できる。

このような大学4年生の通学日数や大学で過ごす時間が少ない背景として、すでに卒業に必要な単位をほとんど取得している学生の存在や就職活動の早期化・長期化による就職活動での拘束時間の増加などが考えられる。特に就職活動の早期化・長期化の問題は、学業への悪影響が指摘されている^{*1}だけに、今後関連する社会情勢と合わせて検証していく必要がある。

次に学部系統別での1週間を通しての通学日数の平均と分布状況を表2-2-3に示した。分布状況をみると通学日数の「5日」で、「保健その他」(76.3%)、「農水産」(66.4%)、「理工」(64.5%)が全体(51.7%)と比べ10ポイント以上高い。

さらに学部系統別に、1週間を通して大学で過ごす時間の平均と分布状況を表2-2-4に示した。まず平均に注目すると、「保健その他」(34.0時間)と「農水産」(33.2時間)が全体平均の25.1時間と比べ8時間以上多い。「保健その他」の1週間を通して大学で過ごす時間の平均を通

*1 2008年7月に国立大学協会、公立大学協会、日本私立大学団体連合会から日本経済団体連合会に採用選考活動の適正化を求める要請書が提出された(<http://www.janu.jp/active/txt5/sai080709.pdf>参照)。

学日数の平均で割ると1日あたり6.8時間であり、全体での同様の計算結果の5.7時間に比べ1.1時間長い。これらのことから「保健その他」や「農水産」では、1週間を通しての通学日数や大学

で過ごす時間、さらには1日あたりの大学で過ごす時間が多く、授業・研究など正課での活動時間が他の学部系統と比べて長いことが考えられる。

表2-2-1 1週間を通しての通学日数(全体・学年別) (%)

	全体 (4,070)	1年生 (1,017)	2年生 (1,013)	3年生 (1,017)	4年生 (1,023)
平均(単位:日)	4.4	5.0	4.9	4.5	3.5
7日	1.6	1.5	1.3	1.8	1.9
6日	10.0	14.9	12.7	7.1	5.5
5日	51.7	69.1	61.5	48.1	28.3
4日	18.8	12.1	20.5	27.1	15.4
3日	8.7	1.5	3.2	12.4	17.8
2日	4.4	0.5	0.2	2.7	14.1
1日	4.3	0.2	0.2	0.7	15.8
0日	0.5	0.2	0.4	0.2	1.2

注1) ○は全体よりも5ポイント以上、●は10ポイント以上高いものを示す。

注2) 〃は全体よりも5ポイント以上、〃は10ポイント以上低いものを示す。

注3) ()内はサンプル数。

表2-2-2 1週間を通して大学で過ごす時間(全体・学年別) (%)

	全体 (4,054)	1年生 (1,013)	2年生 (1,008)	3年生 (1,016)	4年生 (1,017)
平均(単位:時間)	25.1	29.1	28.2	24.3	19.1
5時間以下	9.9	4.6	5.0	5.2	24.6
10時間以下	13.0	8.8	8.5	13.5	21.3
15時間以下	7.9	4.8	6.2	12.0	8.7
20時間以下	15.4	11.5	15.0	21.6	13.4
25時間以下	11.1	13.6	14.4	10.6	5.8
30時間以下	14.3	19.2	17.7	12.9	7.6
35時間以下	6.9	10.4	8.6	5.8	2.9
40時間以下	9.3	11.8	11.7	7.7	6.1
45時間以下	3.2	4.3	3.0	3.4	2.1
50時間以下	4.2	5.5	5.0	4.1	2.2
55時間以下	0.7	1.0	0.7	0.2	0.9
60時間以下	2.0	2.1	2.1	1.7	2.1
61時間以上	2.1	2.3	2.3	1.3	2.5

注1) ○は全体よりも5ポイント以上、●は10ポイント以上高いものを示す。

注2) 〃は全体よりも5ポイント以上低いものを示す。

注3) ()内はサンプル数。

表2-2-3 1週間を通しての通学日数(全体・学部系統別) (%)

	全体 (4,070)	人文科学 (837)	社会科学 (1,553)	理工 (980)	農水産 (125)	保健その他 (283)	教育 (143)
平均(単位:日)	4.4	4.3	4.2	4.8	4.9	5.0	4.5
7日	1.6	1.4	1.2	2.3	3.2	0.4	3.5
6日	10.0	11.4	8.7	10.2	12.0	13.8	11.2
5日	51.7	43.4	42.6	64.5	66.4	76.3	47.6
4日	18.8	22.5	22.9	13.2	12.8	5.7	19.6
3日	8.7	9.7	11.9	6.0	4.0	1.8	6.3
2日	4.4	6.6	5.7	1.6	0.8	0.7	6.3
1日	4.3	4.8	6.2	2.0	0.8	1.1	5.6
0日	0.5	0.4	0.9	0.1	0.0	0.4	0.0

注1) 学部系統別の「その他」は省略した。

注2) ●は全体よりも10ポイント以上高いものを示す。

注3) 〃は全体よりも5ポイント以上、〃は10ポイント以上低いものを示す。

注4) ()内はサンプル数。

表2-2-4 1週間を通して大学で過ごす時間(全体・学部系統別) (%)

	全体 (4,054)	人文科学 (832)	社会科学 (1,546)	理工 (980)	農水産 (124)	保健その他 (283)	教育 (143)
平均(単位:時間)	25.1	23.6	21.6	28.3	33.2	34.0	26.5
5時間以下	9.9	9.6	13.8	6.3	6.5	2.8	7.7
10時間以下	13.0	15.7	13.2	10.8	7.3	11.0	19.6
15時間以下	7.9	9.3	10.2	5.7	5.6	3.2	4.9
20時間以下	15.4	16.7	18.8	12.9	7.3	6.0	13.3
25時間以下	11.1	12.6	12.0	11.3	8.9	4.2	7.7
30時間以下	14.3	12.1	13.6	17.2	18.5	13.4	11.2
35時間以下	6.9	6.3	5.0	9.5	7.3	9.5	9.1
40時間以下	9.3	7.6	6.5	10.6	13.7	21.9	10.5
45時間以下	3.2	1.9	1.9	4.1	4.0	11.0	2.1
50時間以下	4.2	4.0	2.3	4.8	10.5	9.2	7.0
55時間以下	0.7	0.6	0.3	1.0	0.8	2.5	0.0
60時間以下	2.0	1.9	1.2	2.9	4.0	2.1	4.2
61時間以上	2.1	1.7	1.2	2.9	5.6	3.2	2.8

注1) 学部系統別の「その他」は省略した。

注2) ○は全体よりも5ポイント以上、●は全体よりも10ポイント以上高いものを示す。

注3) 〃は全体よりも5ポイント以上低いものを示す。

注4) ()内はサンプル数。

大学で過ごす時間の内訳

大学で過ごす時間の内訳をみると「授業などへの出席」が5.8割と最も多く、次いで「友人との会話や交流など」1.6割、「図書室や研究室などでの自習」1.3割、「大学構内でのサークルや部活動」1.0割、「その他」0.4割であった。



大学で過ごす時間のうち、次のようなことをどのくらいしていますか。合計が10割になるようにお答えください。なお授業やゼミなどの準備は「図書室や研究室などでの自習」に含めてください。

大学生は大学でどのように過ごしているのかについて、大学で過ごす時間の内訳を、「授業などへの出席」「図書室や研究室などでの自習」「大学構内でのサークルや部活動」「友人との会話や交流など」「その他」の5つの項目でたずねた。それぞれの内訳の平均は、「授業などへの出席」が5.8割と最も多く、次いで「友人との会話や交流など」(1.6割)、「図書室や研究室などでの自習」(1.3割)、「大学構内でのサークルや部活動」(1.0割)、「その他」(0.4割)であった(表2-2-5)。

図2-2-1に「その他」を除いた項目の回答分布を示した。「大学構内でのサークルや部活動」で「0割」が55.8%と半数を超えており、サークルや部活動の参加状況が49.0%^{*1}であることもある程度符合する。

一方で「友人との会話や交流など」で、「1割」以下の比率が56.6%と高い。前項の表2-2-2に示した1週間を通して大学で過ごす時間の平均25.1時間^{*2}に、「友人との会話や交流など」の平均割合の1.6割を掛け合わせると1週間あたり4.0時間、通学日数の平均が4.4日^{*3}であったことから、大学内での友人との交流は1日あたり1時間

に満たない計算となる。また1週間を通して大学以外で過ごす時間のうち、「友だちづきあい」で「3～5時間」以上が53.9%^{*4}であることを勘案すると、大学生の対人関係に費やす時間が少ないようにも考えられる。しかし今回の調査結果のみをもって「現在の大学生は人間関係が希薄」と結論づけるのは早計であり、時間といった量的な側面以外からの検証が必要である。

次に表2-2-5に大学で過ごす時間の内訳について、その平均を学年別に示した。特徴として「4年生」で「授業などへの出席」(4.7割)が全体よりも低く、かわって「図書室や研究室などでの自習」(2.4割)が高くなっている。

同様に学部系統別での大学で過ごす時間の内訳の平均を表2-2-6に示した。「保健その他」をみると、「授業などへの出席」が平均で6.3割と、他の学部系統と比べてやや高い傾向がみられた。「保健その他」は、1週間を通しての通学日数や大学で過ごす時間が他の学部系統に比べ多い傾向がみられた^{*5}が、「保健その他」に含まれる医学部、歯学部などの大学生は、正課の授業を中心に忙しい学生生活を送っていることが推測される。

*1 第2章第2節「サークルや部活動への参加状況」(p.69、図2-2-2)を参照。

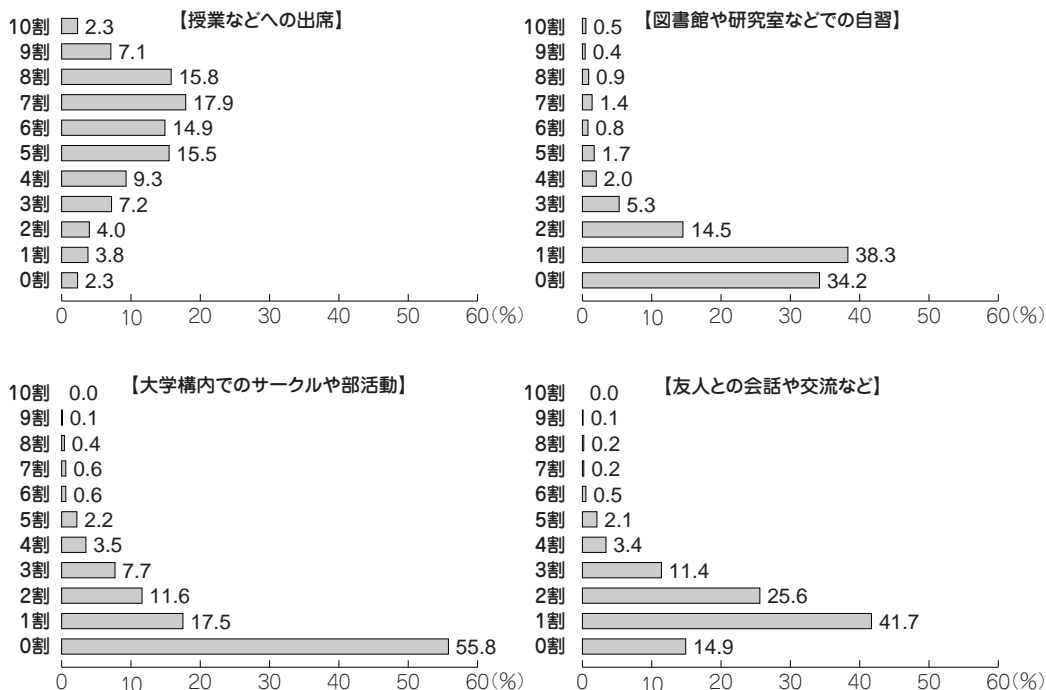
*2 第2章第2節「1週間を通しての通学日数、大学で過ごす時間」(p.65、表2-2-2)を参照。

*3 第2章第2節「1週間を通しての通学日数、大学で過ごす時間」(p.65、表2-2-1)を参照。

*4 第2章第2節「大学以外での時間の過ごし方」(p.73、表2-2-14)を参照。

*5 第2章第2節「1週間を通しての通学日数、大学で過ごす時間」(p.65、表2-2-3、表2-2-4)を参照。

図2-2-1 大学で過ごす時間の内訳（全体）



注1) 大学で過ごす時間のうち、上記4項目の回答分布を示している。「その他」は省略した。
 注2) サンプル数は4,070名。

表2-2-5 大学で過ごす時間の内訳：平均（全体・学年別）

	全体 (4,070)	1年生 (1,017)	2年生 (1,013)	3年生 (1,017)	4年生 (1,023)
授業などへの出席	5.8	6.2	6.2	6.0	4.7
図書館や研究室などでの自習	1.3	0.8	0.8	1.2	2.4
大学構内でのサークルや部活動	1.0	1.1	1.1	1.0	0.9
友人との会話や交流など	1.6	1.6	1.6	1.5	1.6
その他	0.4	0.3	0.3	0.3	0.4

注) ()内はサンプル数。

表2-2-6 大学で過ごす時間の内訳：平均（全体・学部系統別）

	全体 (4,070)	人文科学 (837)	社会科学 (1,553)	理工 (980)	農水産 (125)	保健その他 (283)	教育 (143)
授業などへの出席	5.8	5.8	5.8	5.6	5.5	6.3	5.8
図書館や研究室などでの自習	1.3	1.3	1.1	1.6	1.5	1.1	1.2
大学構内でのサークルや部活動	1.0	0.9	1.1	0.9	1.3	1.0	1.1
友人との会話や交流など	1.6	1.7	1.7	1.4	1.4	1.5	1.6
その他	0.4	0.3	0.4	0.4	0.3	0.2	0.3

注1) 学部系統別の「その他」は省略した。
 注2) ()内はサンプル数。

サークルや部活動への参加状況

サークルや部活動への参加状況は「参加している」が49.0%、「以前は参加していたが辞めた」22.5%、「参加していない」28.5%であった。1週間あたりの参加日数をみると、1週間あたり2日以下の割合がほぼ6割であった。

Q

あなたは現在、サークルや部活動に参加していますか。

【「参加している」と回答した方にお聞きします】

- 週にどのくらいサークルや部活動をしていますか。複数参加している場合は、すべての合計日数をお答えください。
- 1週間を通して、サークルや部活動を何時間くらいしていますか。複数参加している場合は、すべての合計時間をお答えください。

大学生のサークルや部活動への参加状況を図2-2-2に示した。全体では「参加している」が49.0%、「以前は参加していたが辞めた」(22.5%)、「参加していない」(28.5%)であった。さらに「運動系」と「文化系」での参加状況を示したが、「運動系」「文化系」それぞれで「参加している」の比率は25%前後であった。なお「運動系」「文化系」を掛け持ちしている比率は全体の3.5%であった。

次にサークルや部活動への1週間あたりの参加日数を図2-2-3に示した。最も多かったのが「週に1日」の20.4%で、次いで「週に2日」(19.5%)、「週に1日未満(2週に1日など)」(18.2%)であり、1週間あたり2日以下の割合がほぼ6割となった。

次に学年別に1週間あたりの参加日数の平均(表2-2-7)と、参加時間の平均(表2-2-8)を示した。まずそれぞれのサンプル数をみると、学年が進むにつれて減少していることが読み取れる。参加日数では学年による違いはみられず、参加時間をみると2年生と3年生が、1年生と4年生に比べやや多い結果となった。4年生は通学日数・大学で過ごす時間が少ないという傾向がみられた*1が、サークルや部活動においても費やす時間が少ないことが確認できる。

*1 第2章第2節「1週間を通しての通学日数、大学で過ごす時間」(p.65、表2-2-1、表2-2-2)を参照。

図2-2-2 サークルや部活動への参加状況（全体）

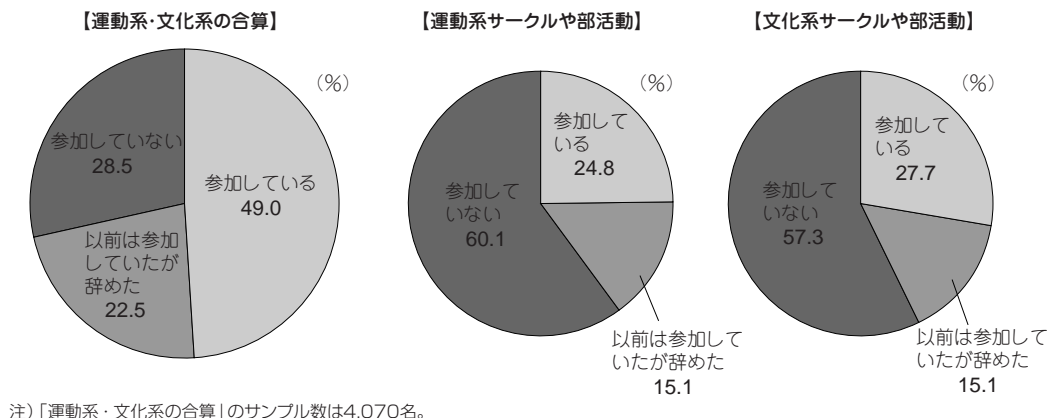
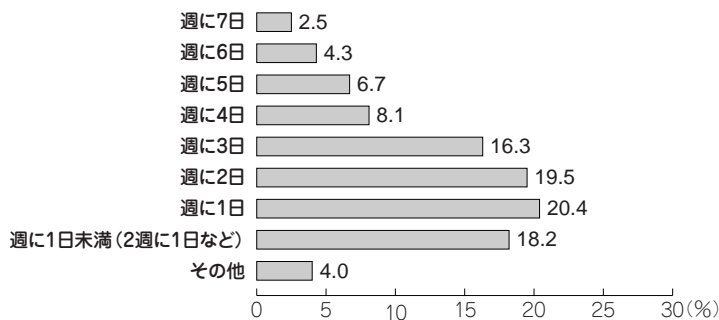


図2-2-3 サークルや部活動への1週間あたりの参加日数（全体）



注1)「あなたは現在、サークルや部活動に参加していますか」に「参加している」と回答した者のみ対象。
 注2) サンプル数は1,993名。

表2-2-7 サークルや部活動への1週間あたりの参加日数：平均（全体・学年別）

	全体 (1,914)	1年生 (589)	2年生 (511)	3年生 (449)	4年生 (365)
平均(単位:日)	2.4	2.3	2.4	2.5	2.3

注1)「あなたは現在、サークルや部活動に参加していますか」に「参加している」と回答した者のみ対象。
 注2) 参加日数の平均は「週に7日」を「7日」、「週に1日未満」を「0.5日」のように置き換えて、「その他」を除いて算出した。
 注3) ()内はサンプル数。

表2-2-8 サークルや部活動への1週間あたりの参加時間：平均（全体・学年別）

	全体 (1,962)	1年生 (604)	2年生 (517)	3年生 (462)	4年生 (379)
平均(単位:時間)	7.0	6.3	7.6	7.5	6.8

注1)「あなたは現在、サークルや部活動に参加していますか」に「参加している」と回答した者のみ対象。
 注2) ()内はサンプル数。

アルバイトの実施状況

アルバイトを実施している大学生は63.7%であり、1週間あたりの実施日数の平均は2.9日、実施時間は14.3時間であった。学部系統別にみると「保健その他」「農水産」で、1週間あたりのアルバイト実施時間が全体の平均に比べ3時間前後少ない結果となった。

Q

あなたは現在、アルバイトをしていますか。

【「はい」と回答した方にお聞きします】

- 週にどのくらいアルバイトをしていますか。複数している場合は、すべての合計日数をお答えください。
- 1週間を通して、アルバイトを何時間くらいしていますか。複数している場合は、すべての合計時間をお答えください。

大学生のアルバイトの実施状況について図2-2-4に示したが、実施している大学生は63.7%であった。

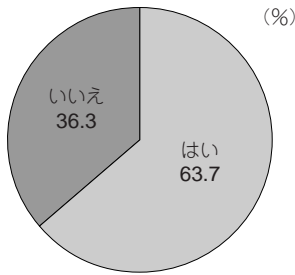
では1週間あたりどのくらいアルバイトを実施しているかを図2-2-5に示したが、最も多いのは「週に3日」(32.1%)、次いで「週に2日」(24.3%)であり、おおむね週に2~3日で半数以上を占める結果となった。つづいて、学年別での1週間あたりの実施日数の平均をみると全体では2.9日であり、学年別での差はほとんどみられなかった(表2-2-9)。また学年別での1週間あたりの実施時間の平均を表2-2-10に示したが、全体の平均時間14.3時間に対し4年生が16.8時間と、全体に比べ2.5時間多い結果となった。このことから、アルバイトの実施日数は学年による違いはみられないものの、4年生になると1回あたりのアルバイト時間がやや長くなっていることが推測される。

次に、表2-2-11で学部系統別でのアルバイトの実施日数をみると、1週間あたりの実施日数の平均では顕著な差はみられない。しかし分布状況をみると「保健その他」で「週に1日」が全体の8.5%に対して20.9%と12.4ポイント高く、また「農水産」も「週に2日」が全体の24.3%に比べ34.8%と10.5ポイントも高い。さらに表2-2-12で1週間あたりのアルバイト実施時間をみると、まず全体平均の14.3時間と比べ、「保健その他」が10.5時間、「農水産」が11.5時間と平均時間で3時間前後少なく、また分布状況をみると「10時間以下」は全体が24.6%であるのに対して「保健その他」が36.6%、「農水産」が38.2%といずれも10ポイント以上高い。

「保健その他」と「農水産」では、通学日数、1日あたりの大学で過ごす時間が他の学部系統と比べ多い*1ためか、アルバイトにそれほど日数・時間ともにつけられない状況が考えられる。

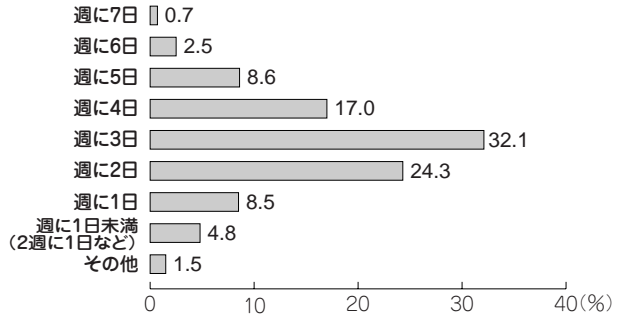
*1 第2章第2節「1週間を通しての通学日数、大学で過ごす時間」(p.65、表2-2-3、表2-2-4)を参照。

図2-2-4 アルバイトの実施状況 (全体)



注) サンプル数は4,070名。

図2-2-5 1週間あたりのアルバイト実施日数(全体)



注1) 「あなたは現在、アルバイトをしていますか」に「はい」と回答した者のみ対象。
注2) サンプル数は2,594名。

表2-2-9 1週間あたりのアルバイト実施日数:平均(全体・学年別)

	全体 (2,556)	1年生 (589)	2年生 (653)	3年生 (656)	4年生 (658)
平均(単位:日)	2.9	2.8	2.9	2.8	3.1

注1) 「あなたは現在、アルバイトをしていますか」に「はい」と回答した者のみ対象。
注2) 実施日数の平均は「週に7日」を「7日」、「週に1日未満」を「0.5日」のように置き換えて、「その他」を除いて算出した。
注3) ()内はサンプル数。

表2-2-10 1週間あたりのアルバイト実施時間:平均(全体・学年別)

	全体 (2,590)	1年生 (596)	2年生 (663)	3年生 (665)	4年生 (666)
平均(単位:時間)	14.3	13.2	13.4	13.8	16.8

注1) 「あなたは現在、アルバイトをしていますか」に「はい」と回答した者のみ対象。
注2) ()内はサンプル数。

表2-2-11 1週間あたりのアルバイト実施日数(全体・学部系統別) (%)

	全体 (2,594)	人文科学 (561)	社会科学 (1,031)	理工 (559)	農水産 (69)	保健その他 (172)	教育 (106)
週に7日	0.7	0.2	1.3	0.5	0.0	0.0	0.9
週に6日	2.5	2.9	2.7	2.5	1.4	0.6	4.7
週に5日	8.6	10.0	9.4	7.7	2.9	5.8	11.3
週に4日	17.0	18.7	18.4	14.3	17.4	11.0	20.8
週に3日	32.1	33.3	33.8	31.1	23.2	25.6	29.2
週に2日	24.3	22.1	22.0	27.0	34.8	29.7	22.6
週に1日	8.5	7.8	6.5	9.3	7.2	20.9	6.6
週に1日未満 (2週に1日など)	4.8	3.6	4.6	6.3	5.8	5.2	2.8
その他	1.5	1.4	1.4	1.3	7.2	1.2	0.9
平均(単位:日)	2.9	3.0	3.0	2.8	2.6	2.4	3.2

注1) 「あなたは現在、アルバイトをしていますか」に「はい」と回答した者のみ対象。
注2) 学部系統別の「その他」は省略した。
注3) 実施日数の平均は「週に7日」を「7日」、「週に1日未満」を「0.5日」のように置き換えて、「その他」を除いて算出した。
注4) ○は全体よりも5ポイント以上、●は10ポイント以上高いものを示す。
注5) ○は全体よりも5ポイント以上低いものを示す。
注6) ()内はサンプル数。

表2-2-12 1週間あたりのアルバイト実施時間(全体・学部系統別) (%)

	全体 (2,590)	人文科学 (560)	社会科学 (1,030)	理工 (558)	農水産 (68)	保健その他 (172)	教育 (106)
平均(単位:時間)	14.3	15.1	15.3	13.4	11.5	10.5	13.8
5時間以下	14.7	13.2	11.7	18.5	17.6	24.4	17.0
10時間以下	24.6	18.9	24.3	24.7	38.2	36.6	22.6
15時間以下	23.9	28.2	22.5	21.7	25.0	19.8	29.2
20時間以下	20.5	21.6	21.7	21.7	11.8	13.4	15.1
25時間以下	7.8	8.0	8.9	7.7	2.9	4.7	7.5
30時間以下	4.7	5.7	5.9	3.4	2.9	0.6	3.8
31時間以上	3.7	4.3	4.9	2.3	1.5	0.6	4.7

注1) 「あなたは現在、アルバイトをしていますか」に「はい」と回答した者のみ対象。
注2) 学部系統別の「その他」は省略した。
注3) ○は全体よりも5ポイント以上、●は10ポイント以上高いものを示す。
注4) ○は全体よりも5ポイント以上低いものを示す。
注5) ()内はサンプル数。

大学以外での時間の過ごし方

大学以外での1週間の過ごし方をみると、「授業の予復習や課題をやる時間」は「0時間」が20.2%、「1時間未満」が28.5%であり、ほぼ半数が週に1時間未満であった。同様に「大学の授業以外の自主的な勉強」でみると約6割が1時間未満であり、総じて大学以外での学習時間が確保されていないことが確認できる。



ふだんの学校外での時間の過ごし方について、次の項目は1週間で何時間くらいになりますか。それぞれあてはまるもの1つをお選びください。

大学以外での時間の過ごし方について、「授業の予復習や課題をやる時間」「大学の授業以外の自主的な勉強」「友だちづきあい」「社会活動」「読書」「テレビやDVDなどの視聴」「趣味」の7つの項目について、週あたりでどのくらいの時間を費やしているかについてたずねた。表2-2-13より、学習時間に関する項目をみると「授業の予復習や課題をやる時間」は「0時間」が20.2%、「1時間未満」が28.5%であり、ほぼ半数が週に1時間未満であることが確認できる。同様に「大学の授業以外の自主的な勉強」でみると約6割が1時間未満（「0時間」31.7%、「1時間未満」29.7%）であり、総じて学習時間が確保されていないことが確認できる。一方で、「友だちづきあい」「テレビやDVDなどの視聴」「趣味」では、「3～5時間」とした回答の比率が高い結果となった（それぞれ26.3%、22.3%、25.8%）。なお「社会活動（ボランティア、NPO活動などを含む）」では「0時間」が83.6%であった。

さらに学年別で「3～5時間」以上と回答した比率を表2-2-14に示したが、「4年生」で「大学の授業以外の自主的な勉強」「読書（マンガ、雑誌を除く）」が全体に比べ5ポイント以上高く、「授業の予復習や課題をやる時間」で5ポイント以上低い結果となった。4年生では大学での授業に関する学習よりも、その他の自主的な勉強に時間を費やしている様子がうかがえる。

同様に学部系統別で「3～5時間」以上と回答した比率を表2-2-15に示したが、「授業の予復習や課題をやる時間」では、「保健その他」と「理工」が全体に比べ5ポイント以上高く、逆に「社会科学」と「教育」で5ポイント以上低い結果となった。「保健その他」では通学日数、1日あたりの大学で過ごす時間が他の学部系統と比べ多い*1に加えて、大学以外でも学習に時間を費やしていることが確認できる。また「教育」では「社会活動（ボランティア、NPO活動などを含む）」で全体と比べ10ポイント以上高いことが特徴として挙げられる。

*1 第2章第2節「1週間を通しての通学日数、大学で過ごす時間」（p.65、表2-2-3、表2-2-4）を参照。

表2-2-13 大学以外での時間の過ごし方（全体）

（%）

	授業の予復習 や課題をやる 時間	大学の授業以 外の自主的な 勉強	友だち つきあい	社会活動 (ボランティア、 NPO活動など を含む)	読書(マンガ、 雑誌を除く)	テレビやDVD などの視聴	趣味
0時間	20.2	31.7	6.7	83.6	20.3	7.6	4.2
1時間未満	28.5	29.7	17.3	8.8	29.9	13.2	12.0
1~2時間	24.6	19.4	22.2	3.6	22.5	18.6	19.1
3~5時間	16.8	10.7	26.3	2.3	15.4	22.3	25.8
6~10時間	6.6	4.8	16.2	1.1	7.7	16.6	16.6
11~15時間	1.9	1.7	5.6	0.2	2.1	8.2	7.2
16~20時間	0.6	0.6	2.5	0.1	0.9	4.4	4.2
21時間以上	0.7	1.4	3.3	0.2	1.1	9.0	10.8

注) サンプル数は4,070名。

表2-2-14 大学以外での時間の過ごし方：「3~5時間」以上（全体・学年別）

（%）

	全体 (4,070)	1年生 (1,017)	2年生 (1,013)	3年生 (1,017)	4年生 (1,023)
授業の予復習や課題をやる時間	26.6	29.6	30.4	28.1	19.0
大学の授業以外の自主的な勉強	19.2	15.2	16.4	20.4	25.0
友だちつきあい	53.9	50.2	53.1	54.4	57.7
社会活動(ボランティア、NPO活動などを含む)	3.9	3.3	4.0	3.7	5.0
読書(マンガ、雑誌を除く)	27.2	25.8	25.2	25.7	32.4
テレビやDVDなどの視聴	60.5	59.2	58.2	59.8	65.0
趣味	64.6	63.6	62.3	63.6	68.9

注1) ○ は全体よりも5ポイント以上高いものを示す。

注2) — は全体よりも5ポイント以上低いものを示す。

注3) ()内はサンプル数。

表2-2-15 大学以外での時間の過ごし方：「3~5時間」以上（全体・学部系統別）

（%）

	全体 (4,070)	人文科学 (837)	社会科学 (1,553)	理工 (980)	農水産 (125)	保健その他 (283)	教育 (143)
授業の予復習や課題をやる時間	26.6	30.7	17.7	35.1	28.8	35.4	21.0
大学の授業以外の自主的な勉強	19.2	15.8	24.0	15.8	15.2	16.3	22.4
友だちつきあい	53.9	56.9	55.9	47.8	52.0	52.6	57.4
社会活動(ボランティア、NPO活動などを含む)	3.9	4.2	3.5	3.3	2.4	2.9	14.7
読書(マンガ、雑誌を除く)	27.2	33.4	28.1	23.4	27.2	21.2	25.2
テレビやDVDなどの視聴	60.5	60.3	61.5	56.8	64.8	59.4	67.2
趣味	64.6	65.2	64.0	67.2	67.2	60.8	60.9

注1) 学部系統別の「その他」は省略した。

注2) ○ は全体よりも5ポイント以上、● は10ポイント以上高いものを示す。

注3) — は全体よりも5ポイント以上低いものを示す。

注4) ()内はサンプル数。

居住形態、通学時間

居住形態では「自宅」が58.1%と最も多く、次いで「一人暮らし」37.1%、「大学の寮」2.3%、「大学以外の寮」0.9%であった。また大学への通学時間（片道）の平均は55.8分であるが、居住形態別にみると「自宅」77.2分、「一人暮らし」24.8分であり、その差は52.4分であった。

Q

- 現在のあなたのお住まいについて、あてはまるもの1つをお選びください。
- 大学への通学時間（片道）について、あてはまるもの1つをお選びください。

居住形態についてたずねた結果を図2-2-6に示したが、「自宅」が58.1%と最も多く、次いで「一人暮らし」（37.1%）、「大学の寮」（2.3%）、「大学以外の寮」（0.9%）であった。

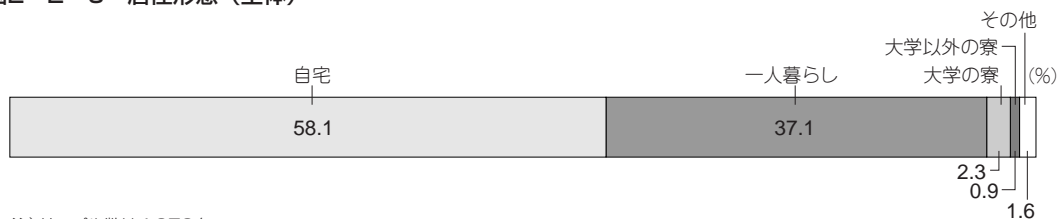
さらに性別での違いを表2-2-16に示したが、「自宅」では女子61.6%>男子55.8%と女子の比率が高かった。一方、「一人暮らし」では男子39.4%>女子33.7%と男子の比率が高かった。このような背景として、受験する大学・学部を決める際に重視した点でみると、「自宅から通えること」（女子39.5%>男子29.1%）であり*1、男子に比べ女子は一人暮らしよりも自宅から通えることが大学選択基準の1つとなっていることが考えられる。

次に大学への通学時間（片道）について図2-2-7に示したが、「15分以内」が27.6%と最も多く、次いで「60分以内」が15.4%、「30分以内」が14.0%であった。さらに居住形態別での通学時間の平均と分布状況を表2-2-17に示した。サンプル数の多い「自宅」「一人暮らし」を中心にみると、平均時間では「自宅」が77.2分、「一人暮らし」が24.8分であり、その差は52.4分であった。また分布状況の「15分以内」「30分以内」の合算をみると、「自宅」（12.2%）、「一人暮らし」（84.9%）であった。居住形態により保護者の経済的な負担が異なる*2が、一方で経済的な負担が少ない「自宅からの通学」は生活時間に占める通学時間の比率が高まることが確認できる。

*1 第1章第2節「受験する大学・学部決定の際に重視した点」（p.50、図1-2-12）を参照。

*2 第2章第2節「大学生の1か月の収入」（p.77、表2-2-19）を参照。

図2-2-6 居住形態（全体）



注) サンプル数は4,070名。

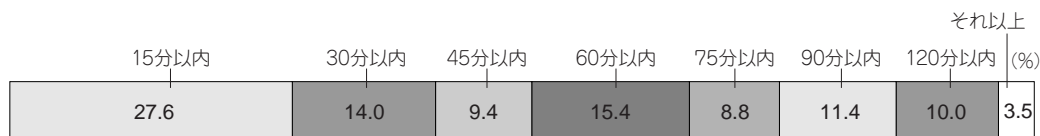
表2-2-16 居住形態（全体・性別）

	全体 (4,070)	男子 (2,439)		女子 (1,631)
自宅	58.1	55.8	<	61.6
一人暮らし	37.1	39.4	>	33.7
大学の寮	2.3	2.6		1.8
大学以外の寮	0.9	1.1		0.6
その他	1.6	1.0		2.4

注1) <>は5ポイント以上差があるものを示す。

注2) ()内はサンプル数。

図2-2-7 大学への通学時間：片道（全体）



注) サンプル数は4,070名。

表2-2-17 大学への通学時間：片道（全体・居住形態別）

	全体 (4,070)	自宅 (2,366)	一人暮らし (1,511)	大学の寮 (93)	大学以外の寮 (36)
平均(単位:分)	55.8	77.2	24.8	23.4	37.1
15分以内	27.6	3.4	63.3	68.8	30.6
30分以内	14.0	8.8	21.6	18.3	27.8
45分以内	9.4	10.4	7.3	6.5	13.9
60分以内	15.4	22.4	5.0	3.2	22.2
75分以内	8.8	14.0	1.3	1.1	2.8
90分以内	11.4	18.6	1.1	2.2	2.8
120分以内	10.0	16.6	0.5	0.0	0.0
それ以上	3.5	5.9	0.1	0.0	0.0

注1) 居住形態の「その他」は省略した。

注2) 通学時間の平均は「15分以内」を「15分」、「120分以内」を「120分」、「それ以上」を「150分」のように置き換えて算出した。

注3) ○は全体よりも5ポイント以上、●は10ポイント以上高いものを示す。

注4) ◯は全体よりも5ポイント以上、◯は10ポイント以上低いものを示す。

注5) ()内はサンプル数。

大学生の1カ月の収入

大学生の1カ月の総収入の平均は8.4万円であった。居住形態別でみると、「自宅」が6.5万円、「一人暮らし」が11.3万円と両者の間で5万円程度の差がみられた。なお「奨学金」の支給を受けていない大学生が7割を超えている。

Q

あなたの1カ月の収入をお答えください。ない場合は「0」とお答えください。

大学生の1カ月の総収入について図2-2-8に示した。最も多い回答は「6万円以下」で17.4%であり、次いで「8万円以下」(14.3%)、「10万円以下」(13.6%)、「2万円以下」(13.2%)が続き、平均は8.4万円であった。

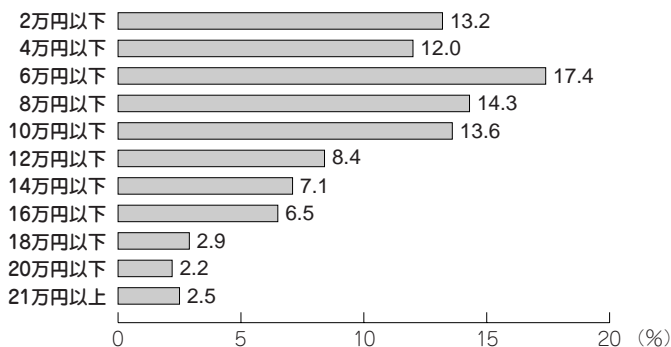
さらに居住形態別での1カ月の総収入の平均を表2-2-18に示したが、サンプル数の多い「自宅」と「一人暮らし」をみてみると、「自宅」が6.5万円、「一人暮らし」が11.3万円と両者の間には5万円程度差があることがわかる。

また大学生の1カ月の収入源について、「保護者などから」「奨学金」「アルバイト」「その他」の4つの項目を示し、どの程度の収入があるかについてたずねた。図2-2-9でみると、「保護者などから」では「0万円」(37.3%)、「1万円」(15.1%)が多かった。「奨学金」では「0万円」(70.1%)、「5万円」(12.7%)が多く、「アルバイト」も「0万円」(37.0%)、「5万円」(12.7%)が

多かった。奨学金の支給を受けていない大学生が7割を超えることから、収入源として保護者かアルバイトのいずれかに依存せざるをえない大学生が多いことがうかがえる。

そこで居住形態別に先に述べた4項目別での収入金額の平均を表2-2-19に示した。こちらもサンプル数の多い「自宅」と「一人暮らし」でみてみると、「保護者などから」は「一人暮らし」で多く(「一人暮らし」5.7万円>「全体」2.9万円>「自宅」1.0万円)、また「奨学金」も「一人暮らし」で多い結果となった(「一人暮らし」2.6万円>「全体」2.0万円>「自宅」1.5万円)。しかし、「アルバイト」に関しては「自宅」のほうが「一人暮らし」に比べてやや多かった(「自宅」3.7万円>「全体」3.3万円>「一人暮らし」2.8万円)。

図2-2-8 大学生の1カ月の総収入(全体)



注1) 1カ月の総収入とは、「保護者などから」「奨学金」「アルバイト」「その他」の合計金額である。表2-2-18も同様。

注2) サンプル数は4,064名。

表2-2-18 大学生の1ヵ月の総収入：平均（全体・居住形態別）

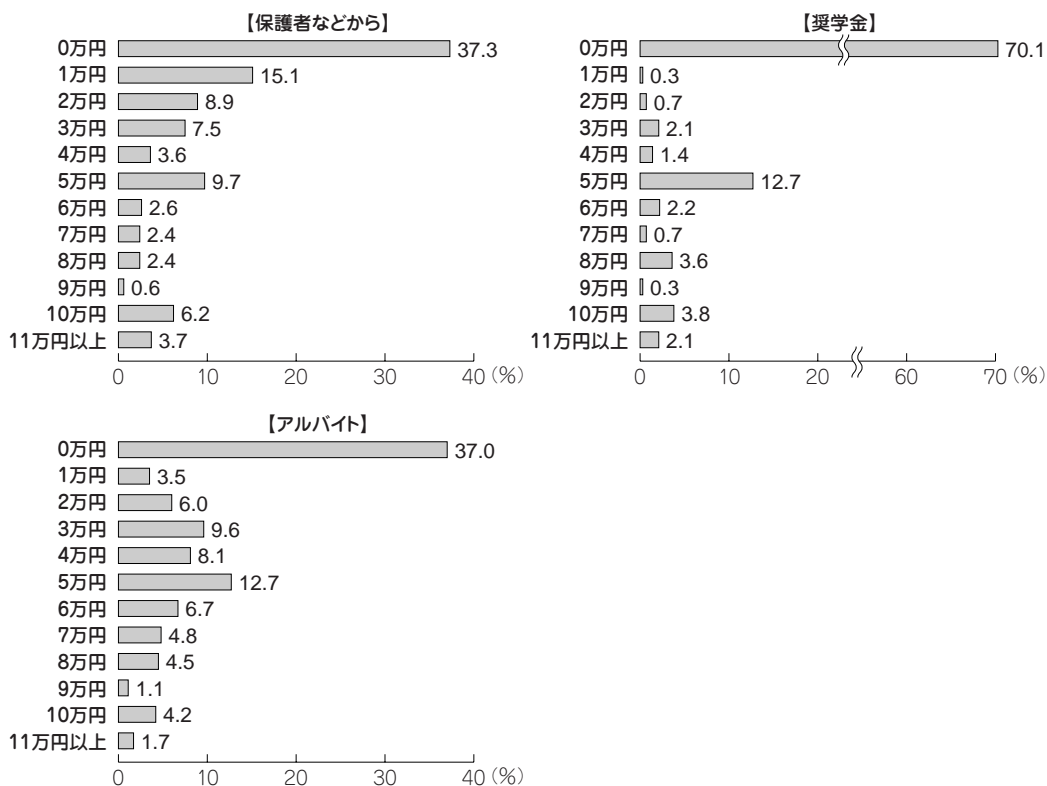
(万円)

全体 (4,064)	自宅 (2,362)	一人暮らし (1,509)	大学の寮 (93)	大学以外の寮 (36)
8.4	6.5	11.3	9.9	9.9

注1) 居住形態の「その他」は省略した。

注2) ()内はサンプル数。

図2-2-9 大学生の1ヵ月の収入：項目別（全体）



注1) 1ヵ月の収入の「その他」は省略した。

注2) サンプル数は4,064名。

表2-2-19 大学生の1ヵ月の収入：項目別平均（全体・居住形態別）

(万円)

	全体 (4,064)	自宅 (2,362)	一人暮らし (1,509)	大学の寮 (93)	大学以外の寮 (36)
保護者などから	2.9	1.0	5.7	3.8	4.3
奨学金	2.0	1.5	2.6	3.6	3.0
アルバイト	3.3	3.7	2.8	2.0	2.6
その他	0.2	0.3	0.2	0.5	0.1

注1) 居住形態の「その他」は省略した。

注2) ()内はサンプル数。